

ザ・パークハウス 横浜新子安ガーデン

The Parkhouse Yokohama Shinkoyasu Garden

No. 06-016-2015作成

新築

集合住宅/その他

発注者	三菱地所レジデンス株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO2技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB
設計・監理	株式会社熊谷組一級建築士事務所		E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携
施工	株式会社熊谷組 首都圏支店		I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他

住まい単体ではなく、人・まち・自然が共生する環境創造を地域の人々とともに実現



ザ・パークハウス 横浜新子安ガーデン全景

地域のまちづくりとの調和

本計画は、JR京浜東北線【新子安駅】・京浜急行電鉄【京急新子安駅】より徒歩4分、日産グランド跡地で、広域避難場所に指定されていた場所に、周辺の影響を考慮し、地元地域の要望や課題について地域の方々と協議・検討を行い、完成しました。

これらを実現するに為、横浜市市街地環境設計制度を利用し、建物高さの緩和（建物を高層化することにより歩行者空間や地域拠点となる広場の確保）と容積率の緩和（認可保育所・学童保育施設・地域交流施設が、『特定施設』として認定され容積率の緩和により設置）を受けることによって、マンション開発による地域の要望に貢献することが出来ました。

ランドスケープデザインにおいて、緑豊かな地域の環境と繋がるような潤いあふれる自然の景観を目指し、敷地周囲をぐるりと囲む歩道状空地や自由利用空地とグリーンネットワークで時と共に成熟していく環境を創造しました。



南西外観



南西エントランスアプローチ



エントランスホール



学童保育スペース

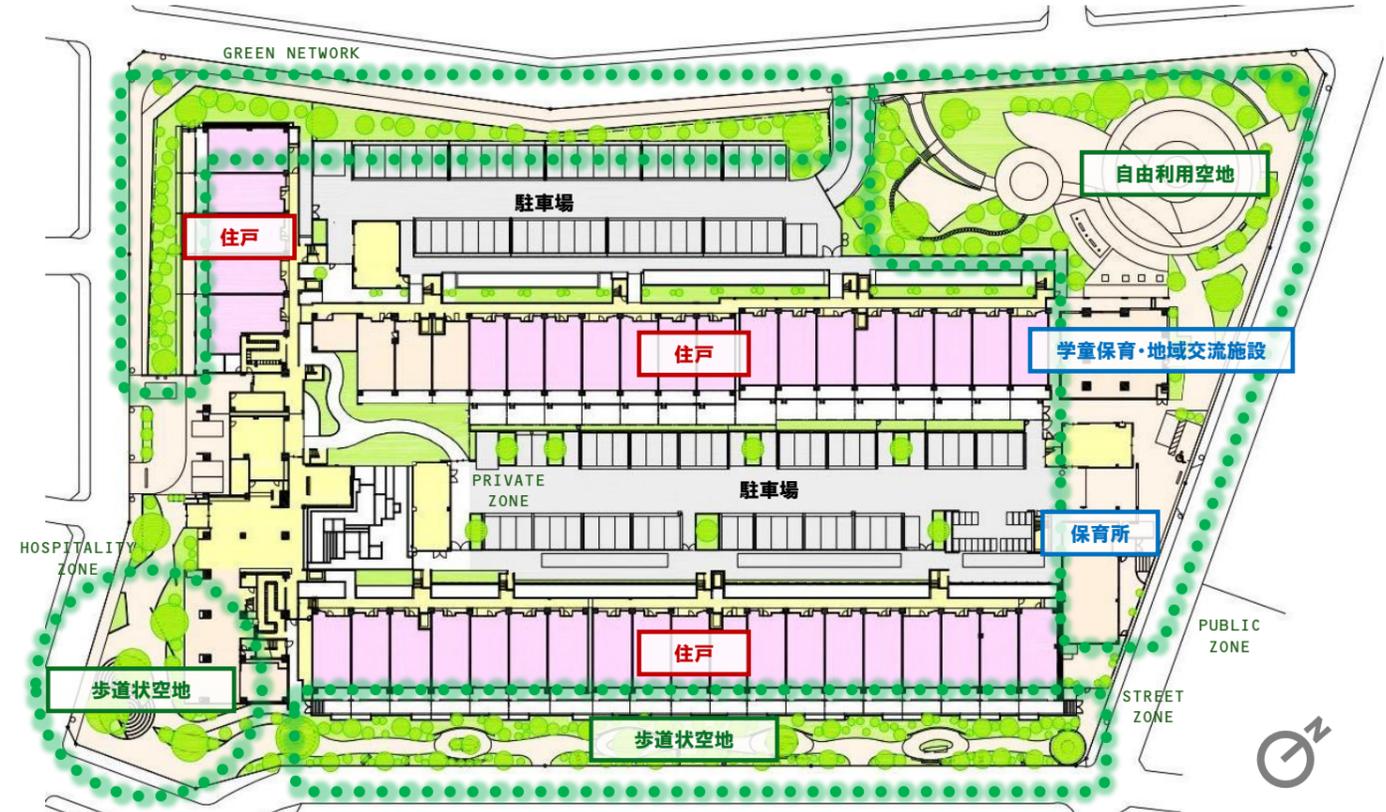
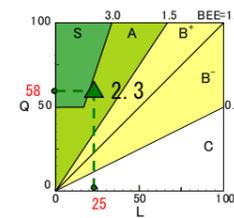


地域交流スペース

所在地	神奈川県横浜市
竣工年	2015年
敷地面積	19,125㎡
延床面積	43,929㎡
構造	RC造・一部S造
階数	地下1階、地上10階

省エネルギー性能	品確法省エネ対策	等級4
----------	----------	-----

CASBEE評価	Aランク
BEE=2.3	2011年度版
自己評価	



プロジェクト全体配置図

地域の人々に開放された共用部

本計画は、地域のニーズが高い子育て応援施設の学童保育施設、地域の住民同士のふれあいを通じた絆づくりに貢献する地域交流施設、敷地全周に快適で安全な歩行者専用の空間となる歩道状空地、マンション住民と地域住民とが身近に憩える場で、地域コミュニティ活動の場ともなる自由利用空地を計画しました。



南側歩道状空地



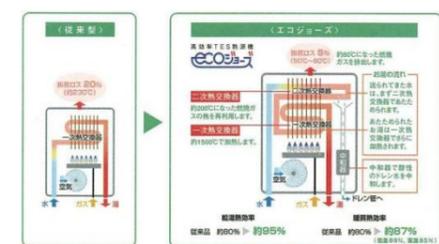
北東側自由利用空地



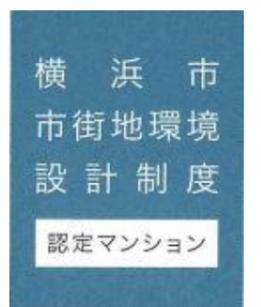
屋上太陽光発電設備



節水型便器・節湯型キッチン水栓の採用



潜熱回収型ガス給湯器の採用



横浜市市街地環境設計制度取得

設計担当者
 統括：飯田 宏/建築：坂本 博登、高森 亮丞、大野 秀樹/構造：梅田 正芳、志村 崇
 設備：新井 勘、針谷 香菜子/電気：徳橋 浩

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2 .2. 耐用性・信頼性 (節水型器具の使用・災害時の飲料水確保及び雨水浄化清水装置備品設置)
- Q3 .2. まちなみ・景観への配慮 (奇抜な色彩を避けた外観計画・周囲への圧迫感を抑制・横浜市市街地環境設計制度採用)
- Q3 .3. 地域性・アメニティへの配慮 (自由利用空地の設置と歩道状空地の設置・地域交流施設を設置)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (潜熱回収型給湯器 [エコジョーズ] の採用・一部共用部にLED照明を採用)
- LR2. 2. 非再生性資源の使用量削減 (メンテナンスのし易さを考慮し、仕上材と躯体を容易に分別できる計画)
- LR2. 3. 汚染物質含有材料の使用回避 (断熱材はノンフロンを採用)